

矢板CC大会記録でV3

那須小川GC 初出場準V

ゴルフ
県クラブ対抗
争う「第4回県クラブ対抗ゴルフ大会」(県ゴルフ場協会主催)が、30日、市員町の那須小川ゴルフ場で開催された。大会は「県ゴルフ振興基金」を活用して開催された。各チームはAクラス(5人)、Bクラス(6人)、Cクラス(7人)の3クラスに分かれ、各2人ずつ出場した。結果は、Aクラスで矢板CCが3連覇を飾り、Bクラスで那須小川GCが初出場準優勝、Cクラスで鹿沼72CCが優勝した。



第4回 栃木県クラブ対抗競技大会
矢板CCの強さは本物だった。上位5人の平均スコアはアンダーパーで他の追随を許さない。勝つて当たり前という評価のプレッシャーは相当なものだった。それに負けない個々の活躍は素晴らしいと主将の熊耳邦男は満面の笑みで振り返った。

3連覇を達成し、県ゴルフ場協会の松本会長(右から2人目)から優勝カップを受け取る矢板CCの熊耳主将。Bクラスの和光(左端)、Cクラスの張田(左から4人目)。

矢板CCの強さは本物だった。上位5人の平均スコアはアンダーパーで他の追随を許さない。勝つて当たり前という評価のプレッシャーは相当なものだった。それに負けない個々の活躍は素晴らしいと主将の熊耳邦男は満面の笑みで振り返った。

3人で6アンダーだから手がつけられない。忘れてはいけないのがBクラスの和光利一。シニア選手権を制している実力者はパープレーでしっかりと戦力として貢献した。

6月はKGA主催の「関東倶楽部対抗」で県勢初の頂点に立った矢板CC。競技方法が異なるため当時と同じメンバーは3人だが、隙のない構成は周囲も認めるところだった。

張田は「ゴルフは難しいので、軽々しく4連覇を目指すとは言えないが頑張りたい」と誓った。熊耳主将は「戦力を毎年整えるのは難しい。来年の事を言えば鬼が笑うが、4連覇を狙うしかないでしょう」と前を向いている。

計6人でチームを編成し、上位5人の合計スコアで争った。過去最大の35クラブ、219人が参加。快晴微風の好コンディションの中、熱戦を展開した。矢板CCは張田巧が68、後藤貴浩と柳沼達男の好コンビで70とチームを引っ張り、初出場で堂々の2位。3位は68の坂本茂が原動力となった。

た鹿沼72CCが続いた。各クラスのベストスコアはAクラスが67で戸祭康夫(日光CC)、Bクラスは72で和光、Cクラスは68で張田が輝いた。またAクラスでエリート選手12人が達成した。

福根孝司、坂本茂、山形清作、村山周一、児野政勝、小本木3、68(鹿沼72CC)岡本隆志、関正勝、歌川康広、日下部清、大園雅章、広島慎太郎、37(鹿沼72CC)金子一、小林博樹、山田一成、吉田史史、宮崎星冬、小田部貴一、37(あまのけいCC)佐藤剛夫、内藤昭安、遠藤雄、持田清之、根津博嗣、高橋英樹、37(日光CC)岡部孝信、戸祭康夫、与倉博哉、手塚幹雄、高橋雅一、与倉博志、37(芳賀CC)田中実、相田喜久夫、舘野章、大塚武、高山聡史、進藤武之、37(NTSA)坂平昭夫、平田昭夫、柏木泰、明良、吉羽成智、尾中哲行、38(アローエース)武田聖雄、竹迫清人、舟橋誠、松村茂、河本泰司、瀧澤雅人、38(鹿沼72CC)38(2)那須小川GC(3)那須小川GC(4)東松原CC(3)5(5)サンヒルズCC(1)戸祭康夫(日光CC)67(34)33(2)坂本茂(鹿沼72CC)68(33)35(3)山田寛平(那須小川GC)70(37)33(3)Bクラス①和光利一(矢板CC)72(36)36(2)橋本芳之(那須小川GC)73(38)35(3)毛塚美都賀CC(73)37(36)88(32)36(2)後藤貴浩(同)71(37)34(3)森山善和(那須小川GC)72(36)36(2)Eクラス①那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス②那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス③那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス④那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス⑤那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス⑥那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス⑦那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス⑧那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス⑨那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス⑩那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス⑪那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス⑫那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス⑬那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス⑭那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス⑮那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス⑯那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス⑰那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス⑱那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス⑲那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス⑳那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス㉑那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス㉒那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス㉓那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス㉔那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス㉕那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス㉖那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス㉗那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス㉘那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス㉙那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス㉚那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス㉛那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス㉜那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス㉝那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス㉞那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス㉟那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス㊱那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス㊲那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス㊳那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス㊴那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス㊵那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス㊶那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス㊷那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス㊸那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス㊹那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス㊺那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス㊻那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス㊼那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス㊽那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス㊾那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス㊿那須小川GC(70)37(36)36(2)Eクラス

体操 作新が男女制す

県高校新人スポーツ
30日までに、作新学院高校総合体育館ほかで体操新体操を行った。

男子ユースBボルダー
戸田(中)が頂点
スポーツクライミングのアジアユース選手権は18、22日、中国・重慶で開催され、男子ユースB(2008、09年生まれ)に出場した土里中3年の戸田稔大がボルダーで優勝した。

戸田は予選で五つの課題(コース)を全て完璧にクリアし、6人で争った決勝は唯一、4課題中二つを完璧にクリアした。

高久投打で活躍 日本は銅メダル
ソフトボールの第1回女子U-15ワールドカップ最終日は29日、東京都の大田スタジアムで決勝が行われ、日本は3位決定戦でチャイニーズタイペイに2-0で競り勝ち、銅メダルを獲得した。

女子個人総合 上野と浅野V
県中学新人新体操は30日までに、上三川町体育センターで行われ、個人新体操

ソフトボール 日本は銅メダル
ソフトボールの第1回女子U-15ワールドカップ最終日は29日、東京都の大田スタジアムで決勝が行われ、日本は3位決定戦でチャイニーズタイペイに2-0で競り勝ち、銅メダルを獲得した。

男子ユースBボルダーで優勝した戸田=中国・重慶

女子ユースA(04、05年生まれ)の白鷗大1年 葛生真白はボルダー3位

男子ユースBボルダーで優勝した戸田=中国・重慶

総評 総合力

白鷗足利 終盤の試合運び課題
文星付 粘り発揮 打線に収穫
秋季関東地区高校野球 前回優勝時と同様に、地合で打率4割3分、防御と好投したことも、来年大会は作新学院が201元開催の面目を保つ見事率2.00と投打のバランスを見据えて大きな収穫と

の白鷗太晴も前半で粘りながら、六、七回で5失点。スタミナ面で不安が残った。打線も散発の5安打で2得点止まり。中盤まで接戦に持ち込めただけに、終盤にかけた戦い方が課題となる。



男子ユースBボルダーで優勝した戸田=中国・重慶